

佐志中学校だより

# 東天

歩°歩°歩° (ぽっぽっぽ)

気づき、考え、実行する生徒になろう

令和4年2月 第11号

文責：田中 泰博

## ～「画竜点睛」～ 最後の仕上げが大切！

「画竜点睛」(がりょうてんせい)という言葉があります。中学校では1年生で故事成語(昔の話から、教訓を伝える物語)を学習しますが、皆さんは知っていますか。この故事成語は、次のような内容です。

昔、中国に張という有名な画家がいました。当時の皇帝が、この張に対しお寺の壁に竜の絵を描かせたのです。皇帝の命を受け竜の絵を描いた張は、なぜか竜の瞳を描きませんでした。「なぜ瞳を描いて完成させないのか？」とたずねたところ、張は「竜に目玉を入れるのは簡単ですが、しかしそうするとこの竜は壁からとび出して飛んでいってしまいます」と言うのです。人々は誰もこんな話を信じません。こいつはいい加減なことを言っている、やがて多くの人がこいつはうそつきだと言いふらすようになりました。画家はしかたなく「わかった。それでは竜に目を入れよう。」と皆に約束しました。その約束の日、画家はみなの前で筆をとると静かに竜の目を入れます。すると果たして不思議なことが…。彼が竜に目を入れたところ、目が描かれた竜が壁を破って起き上がり、天空に飛び去っていったという故事です。このことから、物事を中心になる大切な部分を最後に完璧に仕上げられることを、「画竜点睛(がりょうてんせい)」といいます。



日常生活の中でも、初めからせっかくよくできていても、最後の大切な仕上げのところで手を抜いてしまうと、全部がだめになることがあります。それはスポーツにも、学習にも、仕事にもよくあることです。そういうときは、「点睛を欠く」といいます。

さて、皆さんは、この1年の仕上げのときを迎えています。「画竜点睛」の時を迎えているわけです。自分が描いてきた「竜」に最後の瞳を描き入れ、それぞれの竜が、雲を呼んで天に飛び立つか、それとも「点睛」を欠いて、死竜となって地に沈むか、その何れになるかは、これまでの自己を再度振り返り、新たな目標を持って努力することで決まります。

## ～卒業式～ “まじめに、厳粛に、真剣に”

日本には、人の成長の節目毎に行われる儀式がたくさんあります。子どもの節句や七五三、成人式、結婚式など数えきれません。そのような中、学校では、卒業証書授与式が行われます。これは、教育課程を全て修了した事を認定し、義務教育9年間を終えた中学3年生を社会に送り出す節目の儀式ということです。儀式とは、厳粛なものではなければなりません。まじめなさま、きびしいさま、真剣なさまで臨むことが必要です。ある時、企業に勤める友人から、質問されたことがあります。「入社式で、私語をしたり、スマホを触ったりしている若者が目につく。学校での儀式で、指導していないのか。」というもの。私は、こう答えました。「儀式に臨む時には、場の雰囲気を読み、集団として臨むことが大切だと指導している。社会で生きていくためのとても大切な力だ。」と答えました。

社会人として、儀式や公的な場で、自分勝手な態度をとる人はほとんどいません。「場の雰囲気を読み、集団として臨む」のは、日本人の良さでもあると思います。佐志中生は、これまでまきちんとした態度で臨めています。コロナ禍で、様々なことが制限されている今、卒業証書授与式が挙行できることに感謝してまじめに、厳粛に、真剣に臨んでくれることを期待しています。



## ～みんなの活躍を紹介します！～おめでとう(\*^\_^\*)

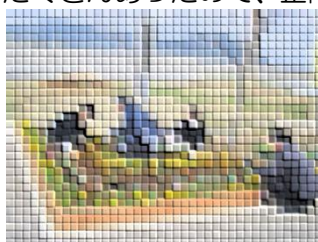
**新年書き方会入賞者** 唐津地区審査会(部門別)で次の人達が入賞しました。

硬筆	1年	入選	
	2年	入選	
	3年	特選	入選
毛筆	1年	入選	
	2年	入選	
	3年	特選	入選



## ～❀新しい花壇❀～ 佐志中を花で飾ろう！

今月初めに、知り合いの方から花の苗をいただきました。ちょうど卒業式や入学式に向けて、プランターや花壇に植えようとしている時でした。思いの外たくさんあったので、正門前の桜の木の根元に新しい花壇を作り、生徒と一緒に植えました。土も知り合いの方がご寄付くださり、いろいろな方に支援をいただいた花壇になりました。登校する時に、ぜひ見てもらいたいと思います。卒業式の頃には満開となり、色とりどりの花で華やかさを添えてくれると思います。「花いっぱい新しい花壇」。大切に育てましょう！！



に植えました。土も知り合いの方がご寄付くださり、いろいろな方に支援をいただいた花壇になりました。登校する時に、ぜひ見てもらいたいと思います。卒業式の頃には満開となり、色とりどりの花で華やかさを添えてくれると思います。「花いっぱい新しい花壇」。大切に育てましょう！！

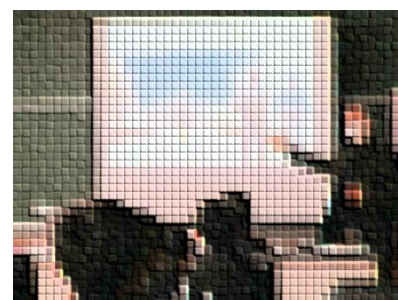


## ～平和の尊さを知る～ 2年生、修学旅行に向けての事前学習

今年の3年生は、形を変えての修学旅行の実施でした。来年こそは、予定通りの南九州の修学旅行が実施できるようにと願うばかりです。そこで、2年生では、平和学習や環境についての知識を深めるために、早くからその事前学習に取り組んでいます。鹿児島では、「知覧特攻平和会館」に行きますが、第二次世界大戦末期に特攻という人類史上類のない作戦で、爆装した飛行機もろとも敵艦に体当たり攻撃をした陸軍特別攻撃隊員の遺品や関係資料が展示されています。この地が出撃基地であったことから、恒久の平和を祈ることを目的に建てられた施設です。その事前学習として、昨年度まで本校にご勤務だった堀田先生を講師にお招きして、平和に関するお話を数回に分けてしていただきました。現在、堀田先生は、ご自身のライフワークとして戦争と平和に関する研究に取り組んでいらっしゃいます。知覧や広島、長崎の原爆資料館に足繁く出かけられて、直接戦地に赴かれた方とお話をされたり、交流を持ったりされています。社会科の授業だけではなかなかできない貴重なお話と資料を提示してご講義くださり、戦争を知らない私たちに、「平和の尊さ」についてあらためて教えてくださいました。



先生を講師にお招きして、平和に関するお話を数回に分けてしていただきました。現在、堀田先生は、ご自身のライフワークとして戦争と平和に関する研究に取り組んでいらっしゃいます。知覧や広島、長崎の原爆資料館に足繁く出かけられて、直接戦地に赴かれた方とお話をされたり、交流を持ったりされています。社会科の授業だけではなかなかできない貴重なお話と資料を提示してご講義くださり、戦争を知らない私たちに、「平和の尊さ」についてあらためて教えてくださいました。



## ～コロナ感染症対策について、もう一度ご確認ください～

コロナ感染症は、まだまだ収まる気配を見せず、緊張する毎日が続いています。現在も、家族感染や濃厚接触ということで、登校についての問い合わせが後を絶ちません。不安な場合は、学校にご一報ください。学校からも、はなまる等でお知らせするようにしています。

＜休日の本人または同居のご家族がPCR検査を受けることになった場合の連絡先＞

sashi.jh-3361@yahoo.co.jp に

こちらからどうぞ→

学年、組、お子様の名前、電話番号を記入し送信してください。

後ほど教頭が折り返し電話いたします。

